

日本海水学会第 62 年会に先立ち、6 月 8 日に日本海水学会若手会主催による第 11 回若手の集いが、年会の会場と同じ赤穂市文化会館ハーモニーホール内(パーティスリー・シェ・ザッコ)で開催されました。本年は、講演会などの特段の企画を設けずに交流会のみとしましたが、若手会会員の先生方や学生さんなどをはじめ、30 名を超える多くの方々に参加して頂きました。会は、参加された学生さんを代表して 6 回連続で参加されている和田善成氏(千葉工業大学博士課程)の乾杯で賑やかに始まりました。また、今回は 3 月に開催された第 2 回学生研究発表会(於:秋田県立大)に続いて参加された学生さんが多く、会を盛り上げている姿を見て、若手会の裾野が大きく広がったことを実感しました。今回は会場の事情により着席形式にて開催されましたが、少数の方と深くお話をすることができる着席形式もメリットが多いことを感じました。会の終盤には、ハーモニーホール内の別室で開催された評議委員会を終えられた先生方にもご参加頂き、会はさらに盛況となりました。その後、これまで会長として若手会を牽引された市村重俊先生(神奈川工科大学)と、今期から新たに会長に就任されました石川匡子先生(秋田県立大学)のお二人にご挨拶を頂きました。市村先生はこれまでの若手の集いの幹事を経験された方々の中から役員を募り、現在の若手会を立ち上げた経緯、また、発足から 4 年間、若手会が順調に軌道に乗りつつあることをご紹介頂きました。石川先生は、これまでの若手会の活動を成熟させること、また、今後役員が変わっても若手会を継続できる体制にすることを目標として掲げられ、参加された若手会会員、評議員の皆様より、温かい激励の声と拍手を頂きました。今回の若手の集いにご参加頂いた皆様には、アンケートの実施にもご協力頂きましたが、研究分野や大学、企業、研究所などの所属、さらには年齢等も超えて多くの方々と親睦を深めることができたというご感想を多数頂きました。例年同様、多くの方々に有意義な時間を過ごして頂くことができたのではないかと考えております。



若手の集い

本年度の年会期間中、若手会では、第 62 年会実行委員会との共催により、技術交流ポスターセッションおよび 60 周年記念見学会を実施しました。これらについても本稿で併せて報告します。

技術交流ポスターセッションは、参加者の技術および人的交流を目的としています。本セッションでは、従来の学術研究に関するポスター発表とは別に、発表内容や分野は問わず、「大学研究室および企業等の紹介」、「既に開発した研究および開発の概要紹介」等について討議されました。第 60 年会(2009 年)で初めて開催し、以来 2 回目の実施となりました。今回の発表件数は全部で 23 件でした。発表時間 1 時間の間、活発な討議がなされ、非常に盛況に終わることができました。最も交流を促進したポスター発表に対する賞である親潮賞(企業関係)を住重プラントエンジニアリング株式会社の宮川義光氏および三菱重工株式会社の岩橋英夫氏、黒潮賞(大学関係)を徳島大学の山本彩加氏が受賞され、夕刻の懇親会において表彰されました。本セッションのポスタ

一は懇親会においても会場内に掲示され、懇親会の話題の一つになっていました。年會に参加する目的として、学会でしかお会いできない方々と交流することが挙げられると思います。その意味で、本セッションは、通常の学術発表ではなかなか討議しにくい話題を提供する海水学会の年會の新しい特徴として、根付いていくことを期待しております。

60周年記念見学会は、株式会社日本海水赤穂工場および赤穂海浜公園を見学するバスツアーを企画しました。参加の募集開始後すぐに定員に達し、本見学会への皆様の関心の高さを実感しました。最終的には、合計で52名の参加となりました。赤穂工場では、初めに工場長の塩崎成治氏よりスライドを用いて赤穂工場の概要をご説明頂きました。その後、各班6~10名程度に分かれて赤穂工場の方々に工場内をご案内頂きました。赤穂工場見学後は、赤穂海浜公園へバスで移動しました。赤穂海浜公園では、流下式塩田で製造されたかん水を煮詰める塩づくりを体験し、その後、公園を各自散策しました。雨天であったため、流下式塩田による塩づくりの様子を実際に見ることができなかったのは残念でしたが、この見学会を通して、揚浜および入浜式塩田法から現在のイオン交換膜法に至る「日本の塩づくりの歴史」についての知識を深めることができました。

これらの企画、運営にあたり、多くの方々のご協力を頂きました。見学会の開催にご尽力頂いた、年會実行委員である外輪健一郎先生(徳島大学)、前田光治先生(兵庫県立大学)、また、塩崎工場長をはじめとした赤穂工場の皆様に心より感謝申し上げます。技術交流セッションの準備、設営には、秋田県立大学、神奈川工科大学、千葉工業大学、徳島大学、兵庫県立大学の学生さん、また、塩事業センターの皆さんにご協力を頂きました。重ねて感謝申し上げます。

若手の集いは昨年、仙台で工場見学、石巻で懇親会を開催しました。末筆になりましたが、東日本大震災の被害にあわれた皆さまに心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。



技術交流ポスターセッション



見学会(赤穂海浜公園)



見学会(株式会社日本海水赤穂工場)

